

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	佐久コスモス福祉会 児童支援事業所どんぐり		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 8日		～ 2025年 12月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13人	(回答者数) 13人
○従業者評価実施期間	2025年 12月 17日		～ 2025年 12月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数) 9人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 8日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	芝生広場や畑、バスケットの設置、自転車の整備をしており、1年中外で活動できる環境を備えています。自転車の練習を続け、3名が乗れるようになりました。また、新たに「モルック」や「綱引き」「長なわとび」「短なわとび」の活動にも取り組みました。サワガニとりや虫とり、砂遊び、どんぐり拾いなどに夢中になって遊ぶことは、行動や気持ちの安定につながっています。	外活動を各個別支援計画に位置づけ、各児の支援目標を意識して関わっています。片付けや活動の切り上げ、時刻の意識、ルールを守る、収穫物の調理などを行っています。 外へ「行く／行かない」と活動選択の機会にもしています。 遊びこむ時間の確保も大事にしています。	事業所の庭は、直ぐに出られる近さや広さ、整地不整地の多様さ、自然の豊かさという利点があり、まだまだ支援の工夫ができそうです。木陰を利用してデイキャンプエリアを設営したり、カブトムシをよぶ仕掛けを作ったり、落ち葉プールをしたり、暑くても寒くても活動できるようにし、支援の幅を広げていきます。外遊びを楽しむ中で、協力することやルールを守ることを体験する機会にしたいです。
2	作業療法士や公認心理師の専門職を配置しており、社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、保育士、小・中・高・特別支援の教員免許所持と全職員が資格を所持し、それぞれの得意を生かしています。行政や相談支援事業所、各所属校との連携が充実しており、支援の共有ができています。	毎月行うスタッフ会議日に研修会を設定したことで、前年より研修の機会を増やせました。「心理発達検査の活用」や「応用行動分析による支援」について、また「身体拘束排除マニュアルの周知」「虐待防止・権利擁護研修」等を行いました。 身近にいる専門職の知識を共有することで、各々の支援力を向上させたり、自己研鑽につなげたりしています。	標準化されたアセスメントツールを活用した支援に取り組んでいます。「Vineland II 適応行動尺度」の活用を始めていますが、子どもたちの特性をさらに深く理解し、専門的な支援が行えるようにしていきます。
3	職員間で子どもたちのことについて話す時間を多く持て、情報共有や支援の相談をしやすいです。 月曜日から金曜日まで週5日利用の方がほとんどなので、子どもたちの変化に気づきやすく、支援の内容や方法を日ごとに検討し、継続支援できています。	開所日には、支援前の連絡会と終礼、各支援チーム毎の打合せを行っています。また、週1回専門的支援チームの打合せも活用し、支援を振り返り、検討するようにしています。 送迎の機会を活用し、ご家族とも変化や成長を共有し、支援の統一が図れるようにしています。	家族支援や子育てサポートを活用して、ご家族とより深く信頼関係を築いたり、連携を図ったりしていきたいと考えています。 家族支援(家庭や事業所での相談)や子育てサポートの支援(事業所に見に来ていただいた上で相談をする機会の提供)について周知し、具体的に日程調整を進めます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後等児童クラブや児童館との交流をする機会がありません。	事業所と地域の児童館等とが離れており、交流の機会を設けることは難しいです。	地域の施設(図書館やスーパー)の利用をする中で、地域の方々との交流を図ることを考えていきます。また、公園外出の際に、地域の子供達と一緒に遊ぶ機会があれば、交流をしていきます。 (近隣の方とはお会いするときにご挨拶しています。公園や、図書館などに出かけた際、地域の方と関わりが持てるよう支援していきます)
2	父母の会の活動支援や保護者会等を開催するといった、保護者同士やきょうだい同士で交流する場が設けられていません。	きょうだい児の支援については、強く必要性を感じているところです。現在は個別に相談を受け、対応しています。保護者会活動等の場の設定については、各ご家庭への負担も多くなることが予想され、要望もないことから、取り組みを進められていません。	きょうだい児同士の交流会は設けていませんが、事業所への送迎で顔を合わせた際にお話をするなど、機会をとらえ交流することを大事にしています。 また、引き続き、きょうだい児に係る個別の相談に対応し、その中で保護者会活動や交流会の設定の必要性を検討してまいります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 佐久コスモス福祉会 児童支援事業所どんぐり

公表日 2026年2月25日

利用児童数 14

回収数 13

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13				・庭で身体を動かせるので、ありがたい。	・芝生や畑を活用して、身体を動かせる活動や野菜の植え付け、収穫を行っています。今後も外遊びの活動を計画して行っています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12			1	・人数確保大変な中、対応してもらっています。	・子どもたちの人数に合わせて、職員数を調整しながら支援を行っています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12			1	・個々に合わせて構造化していると思います。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13					
適切な 支援 の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13				・得意なことや苦手なことを把握し、子どもが楽しく取り組める工夫がされている。 ・支援が統一されているのでとてもありがたいです。 ・いつもアドバイスや相談に乗ってもらえて助かります。	・今後も、日々の活動に変化をもたせ、職員間で統一した支援を行っていきます。 ・専門的支援では、より細やかな計画を立て、成長の段階に応じて必要な支援を行います。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11	1		1	・公表が分かっていなくてすみません。	・支援プログラムを作成し、ご家庭に配布しました。法人のHPにも掲載しております。新規利用者も入られるので、再度周知をしていきます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12			1	・ガイドラインについて詳しく分からない。	・ご家庭への説明が不十分で申し訳ありませんでした。どんぐり通信にて、放課後等デイサービスガイドラインについてご説明します。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	3	3	3	・特に求めている。	・学校休業日の公園外出などを通して、地域のお子さんに関わる機会を持てればと考えています。
保護者へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	1				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	1				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	2	3	2	・家庭での様子を聞いていただく機会、家での課題の取り組み方法のアドバイスをいただき、助けられている。 ・家族参加はないかなと思います。	・現在、家族が参加できる研修会については、実施できていません。 ・家族等も参加できる研修会などの情報提供や、ご家族に対する相談支援について、必要に応じて個々に対応して参ります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13				・毎回迎え時に取り組んだこと、取り組み姿勢、できた事、出来なかったこと、詳細に伝えて頂き、理解している。	・日々のお子さんの様子を、送迎時やサービス提供記録を活用して、情報共有していきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	1				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13					

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	3	6	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あったらうれしいが、実際その余裕があるとは思えない。</li> <li>・兄弟について相談に乗ってもらい、大変ありがたいです。引き続きお願いします。</li> <li>・保護者同士の交流や、障害のある子のきょうだい交流の機会はないかな、と思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きょうだいに関わる相談支援を、必要に応じて個別に行っています。</li> <li>・きょうだい向けのイベント等の開催の機会は、まだ設けられていません。</li> </ul>
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12			1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13					
	21	定期的な通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	12				1	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12				1	
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13					
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11				2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お陰様でアクシデントや怪我無く、過ごさせてもらっている。</li> <li>・今後も、安全に過ごせるよう環境設定していきます。事故や怪我の際には速やかにご家庭への電話連絡、状況説明を行います。</li> </ul>
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	13				<ul style="list-style-type: none"> <li>・行き渋ることがないので、本人にとって安心できる場所だと思っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもたちにとって、安心して楽しんで通える場であるよう努めます。</li> </ul>
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	11	2			<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日「楽しかった」と言って帰ってきます。</li> </ul>	
	29	事業所の支援に満足していますか。	13				<ul style="list-style-type: none"> <li>・家ではなかなかできない内容。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の支援に関するご理解とご協力をありがとうございます。今後もお子さんとご家族を大切に支援を行って参ります。</li> </ul>

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		佐久コスモス福祉会 児童支援事業所どんぐり		公表日 2026年2月25日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		・小学校チーム、養護学校小学部、養護学校中学部、と発達に合わせて分けて支援しています。活動内容によっていくつかある個室を利用しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		・パーティションを使用し、活動に合わせて環境調整を行っています。	・子どもたちの特性に応じた構造化や、地震に備えた物の整理を継続して行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1	・毎日の清掃を行い、活動内容によって場所を使い分けています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		・1人になりたい気分の時に、個室や一人の空間が提供できるように環境を配慮しています。	・個別で使用できるスペースが確保できるよう、パーティションを利用して支援を行います。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	1	・個人で研修を受けたり、本を読んだりして、それぞれが専門性の向上を図っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		・年一回、アンケートを実施し、スタッフ会議で結果の共有、支援の検討を行っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		・業務前の連絡会、後の終礼、スタッフ会議、連絡ノートの活用、その他職員会でケアの相談ができるように努めています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	7		・第三者による外部評価は実施していません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		・前年度よりも研修を受ける機会が増えており、希望する研修に行っています。法人内研修の参加もできました。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		・どんぐり独自の支援プログラムがあり、公表されています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		・保護者の方とお話しながら計画作成をしています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		・子どもに直接かかわる職員と相談、調整して、計画作成し、スタッフ会議で周知されています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1	・Vineland- II 適応行動尺度の活用と、日々の細かな行動観察を行い、適応状況の記録をとっています。	・Vineland- II 適応行動尺度の活用を開始し、支援に活用していきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		・ガイドラインにおける、ねらいや支援方法を踏まえながら、その子にあった支援内容を立案していきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		・スタッフ間で相談しながら、活動内容を検討することができます。	

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		・レクリエーションを週2日取り入れ、運動、製作、ダンス、アートタイムも組み込み、日替わりで様々なプログラムを行っています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		・静の活動と動の活動というメリハリを意識して、活動設定を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		・支援前に必ず連絡会を行います。前日の様子もここで再確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		・終礼を行って振り返りをしています。その場に居なかった支援者には、翌日に伝達を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		・課題に応じて、記録やアセスメントを取り、支援に生かしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		・3か月毎に様子まとめを行い、計画前には半年に1度のモニタリング会議を行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9		・自立に向けた支援や、創作活動、余暇の提供などの支援を行っています。	・「地域交流の機会の提供」が少なく、公園外出や図書館外出を機会の提供としています。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		・子どもたちと話し合いながら、活動を決定するようにしています。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		・児童発達支援管理責任者や、支援担当者が出席できています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		・個別支援会議に参加する他、送迎時に特別支援コーディネーターや学級担任との連携が取れています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	1	・保育所見学へ行き、移行支援を行いました。佐久市療育支援センターとの共有、中佐都保育園とのやり取りができ、情報共有が充実しました。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	8	・来年度佐久市子育て支援拠点施設が野沢にできるため、役割に期待しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		9	・公園へ出かけた際に地域の子どもと一緒に過ごしたり、順番などが守れるように見守りをしています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	2	・佐久市事業所連絡会へ参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		・活動に取り組む様子や素敵な姿、ご家庭での困り感についてを、日常的に保護者の方と共有することができています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	6	・ペアレントトレーニングについての情報共有を行いました。	・ご家庭のニーズに応じた、ご家族が参加できる研修について、情報共有の機会を増やしていきたいと思ひます。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9				
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9				

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		・きょうだい児に関する相談を受ける機会が増えており、事業所やご自宅等で個別に相談に応じています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	8		・保護者会について、ご家庭からの希望があれば開催いたします。現在は実施しておらず、交流の機会は持っていません。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		・所長へ報告し、検討したうえで迅速に対応するようにしています。また、対応をスタッフ間で共有するようにしています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	1	・季刊で通信を発行しています。さらに内容を充実させていきたいと思っています。	・どんぐり通信にて、どんぐりの活動内容をお伝えしています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		・通信における写真の利用など、保護者の方に許可を頂いた上で掲載しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		・絵カードや写真、PECSを用いて、こどもたちの意思を確認しています。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		9	・今後について所内で検討します。	・どんぐり周辺の散歩を取り入れながら、地域の方と自然に挨拶したり、お話する機会が設けられるといいなと考えています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		・年3回の避難訓練を行っています。	・事前に災害が想定される場合には閉所となります。開所中に災害が起きた場合には安全確保ののち、帰宅対応になります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		・親御さんより詳細な聞き取りを行い、職員間で共有しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		・個人に応じてアレルギー対応を行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		・設備の安全点検を月に1回行い、必要な修繕、及び周知を行っています。	・地震を想定した物の配置の見直しや、対策を行い、安全に過ごせるように改善していきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		・事前指導及び避難訓練の実施報告を保護者の方へその都度周知しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		・毎月のスタッフ会議で共有しています。ヒヤリとしたことを話しやすい雰囲気づくりを大事にしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		・県の研修、佐久圏域の研修に参加しました。虐待防止委員会を年1回以上行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		・必要な手つなぎ支援について、十分に検討の上、解除を目標に支援計画に記載しています。		